



煌めけ真壁っ子

学校便り 第 15 号
令和4年12月21日発行
学校長 津嘉山 博好

講師を招聘して学びました (4~6年)

外部から専門講師の方々をお招きして、話をしてもらい、それぞれの学年のテーマに合わせて学びを深めました。初めて聞く話にみんな聞き入って、真剣に考えていました。



6年・人権教育(ハンセン病)12/13



4年・福祉教育(アイマスク体験)12/13

ハッピークリスマス会を行いました (喜屋武小・米須小・真壁小合同)



12月16日(金)に、真壁小体育館で、喜屋武小・米須小・真壁小のハッピークラスで合同ハッピークリスマス会を行いました。みんな「新しい友だちができた」と喜んでいました。サンタさんもやってきて、みんなに御菓子のプレゼントをしてくれました。全員、クリスマス会を楽しみました。



1月の行事予定

- 6日(金)3学期始業式
4校時授業・給食なし
- 9日(月)成人の日(公休日)
- 10日(火)書き初め会
- 11日(水)任命朝会(正副級長)
委員会活動
- 13日(金)糸満市教育の日
授業参観・校内持久走大会
- 16日(月)発育測定(高学年)
- 17日(火)発育測定(低学年)
- 18日(水)委員会朝会
(栽培・給食委員)
- 20日(金)昔遊び(1・2年)
※真壁老人会との交流
- 23日(月)給食週間(~31日)
- 25日(水)漢字朝会(読み)



5・6年・性教育 12/15

普段の授業から（1～3年）12月



1年(図工・算数)



3年(算数)



2年(国語・図工)



3年(理科)

みんな真剣に学習していました。表現やノート整理も上手です。

.....
○沖縄県教育庁・目取真参事より、子育て四訓を詳細していただきました。自分自身の子育てを振り返り、”ほっ”としたり、”あっ”と思ったりしました。皆さんにもご紹介いたします。

【子育て四訓】

「子育て四訓」は、子供を自立させていくための心がけ(距離感)について、そのポイントを4つの時期に分けてを示したものです。

1 乳児はしっかり肌を離すな

乳児期の子育てはシンプルです。とにかく、肌と肌を触れあわせ愛情を注ぎ続けていきます。このときの肌のぬくもりが、人が一生を生きぬく力の源泉になるといわれています。

2 幼児は肌を離せ、手を離すな

幼児期、小学校に上がる時期あたりまででしょう。肌を合わせるということからは少しずつ卒業します。しかし、手は離さず、「助けが必要な時はいつでも側にいるよ」という安心感を与えながら育てていきます。

3 少年は手を放せ、目を離すな

少年期。たぶん小学校から高校くらいかな。肌も離し、手も離しますが、「目」は離しません。子どもの動きや心の変化をしっかり観察しながら、必要に応じて支援していきます。

4 青年は目を離せ、心を離すな

そして、少年はやがて「青年(成人)」となっていきます。めでたく「自立」となっていきますが、まだ、親の役割は終わりません。肌を離し、手を離し、目も離しても、「心」だけはつながり続けます。山あり谷ありの子どもの人生を心でつながり、支え続けるのです。

「子育て四訓」は具体的なノウハウは示されていませんが、子育ての神髄が伝わる、暖かいメッセージだと思います。